

ピクテ・ゴールド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

ファンドの特色

Point

1 実質的に金に投資します

Point

2 [為替ヘッジあり] 原則として為替ヘッジを行い、
為替変動リスクの低減を図ります
[為替ヘッジなし] 原則として為替ヘッジを行いません

Point

3 年1回決算を行います
●毎年7月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、
収益分配方針に基づき分配を行います。
●必ず分配を行うものではありません。

※投資にあたっては、投資信託証券への投資を通じて行います。
※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
※[為替ヘッジあり]は為替ヘッジを行うことで米ドル建ての金価格に近い値動きになりますが、円金利が米ドル金利より低い場合、円と米ドルの金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。



ピクテ — 資産保全で築いた信頼

ピクテは、スイス・ジュネーブに1805年に設立されました。ナポレオン戦争時に貴族たちが財産を守るために頼ったのが、ピクテをはじめとするプライベート・バンク。
以降、ピクテは2世紀にわたり世界の王侯貴族などの富裕層を中心とした顧客の資産を保全することで信頼を築いてきました。

実質的に金に投資

当ファンド
ピクテ・ゴールド(為替ヘッジあり)
ピクテ・ゴールド(為替ヘッジなし)

投資先ファンド
金現物に直接投資するファンド

現物の金
ピクテなど投資先ファンドの
保管銀行で管理

※金現物に直接投資するファンドとして、主としてピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド・フィジカル・ゴールドの他、ETF(上場投資信託証券)も組入れることがあります。※一部でピクテ・ショートターム・マネー・マーケットJPYにも投資します。※当ファンドでは金現物は引き出せません。
※上図はイメージです。

希少性と永遠の価値

金は希少性が高く、何千年もの歴史のなかで一度も無価値になったことがありません。

これまでに生産された金の総量

約**18万7,200**トン



オリンピック
プール
約**3.9**杯分

金は「世界共通の通貨」

美しい光沢を持ち、普遍的な価値を持つ金は、古代より世界中で通貨として用いられてきました。日本でも、江戸時代に大判・小判が流通していました。現在でも、各国の中央銀行で大量に保有される金は、「世界共通の通貨」としての側面を持つ資産であると認識されています。



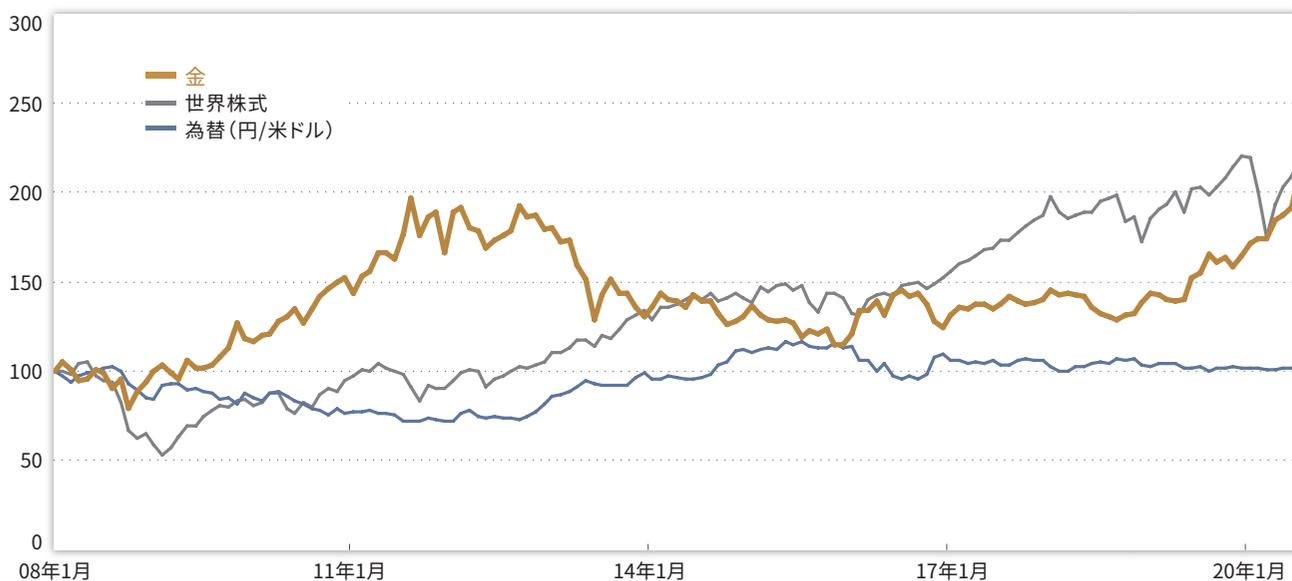
※直近公表値

出所:U.S. Geological Survey(USGS)、World Gold Councilのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成
※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

伝統的資産と異なる値動き

資産ごとに値動きの特性は異なります。特に金は過去、伝統的資産とは異なる値動きをしてきました。

金、世界株式、為替(円/米ドル)の価格またはパフォーマンス推移
(月次、米ドルベース、期間:2008年1月末~2020年7月末)

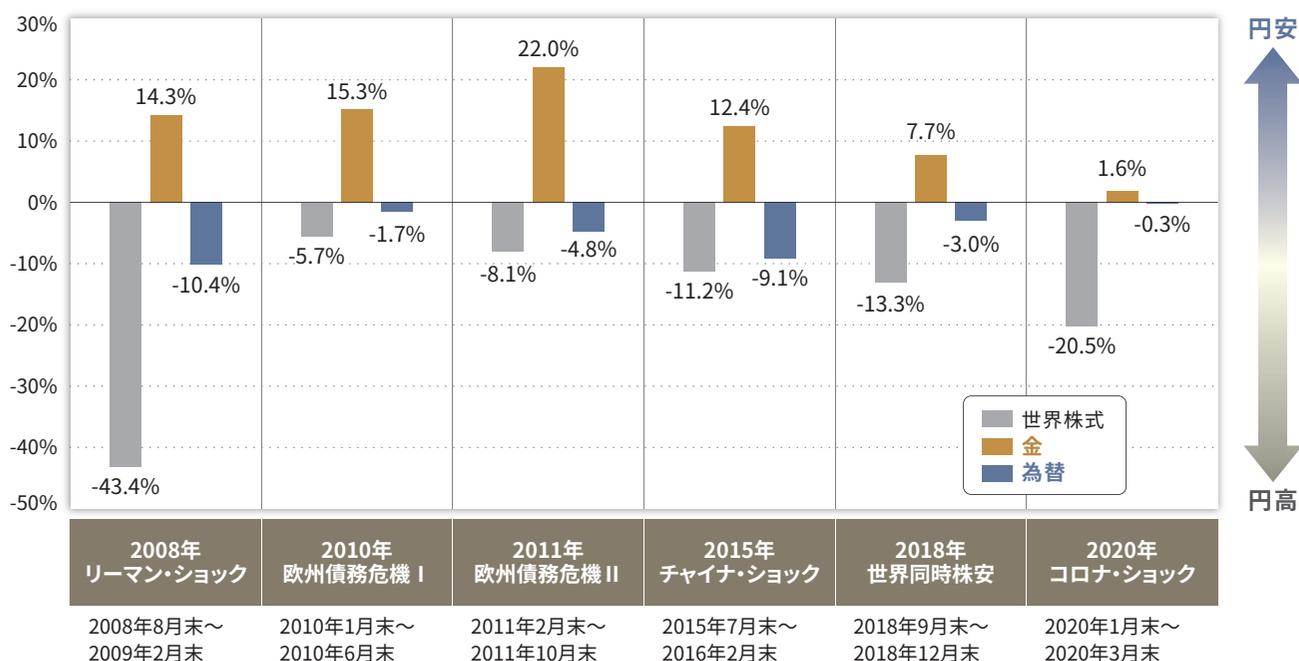


※2008年1月末=100として指数化
※データの出所等はP3下段をご覧ください。

不透明な市場環境に見せる強み

金融危機時など市場の不透明感が高まる環境においても、金は株式などと異なる値動きをする傾向があります。

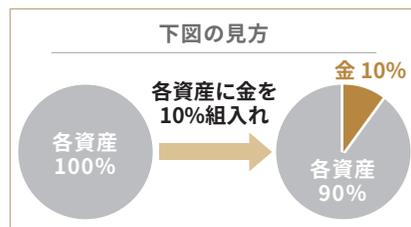
市場調整局面での世界株式・金価格(ともに米ドルベース)、為替(円/米ドルレート)の騰落率



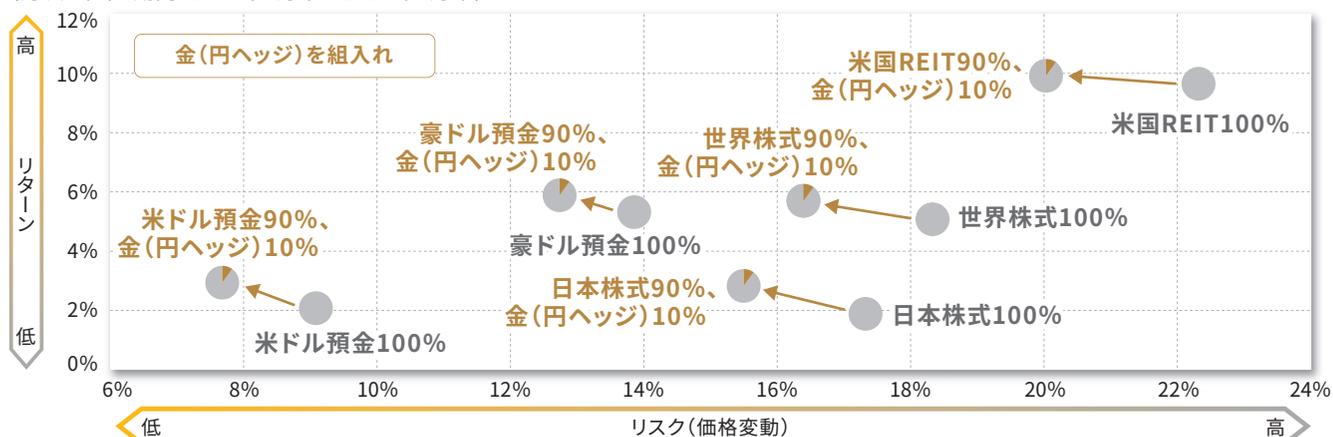
※データの出所等はP3下段をご覧ください。
※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

資産の一部に金を組み合わせる効果

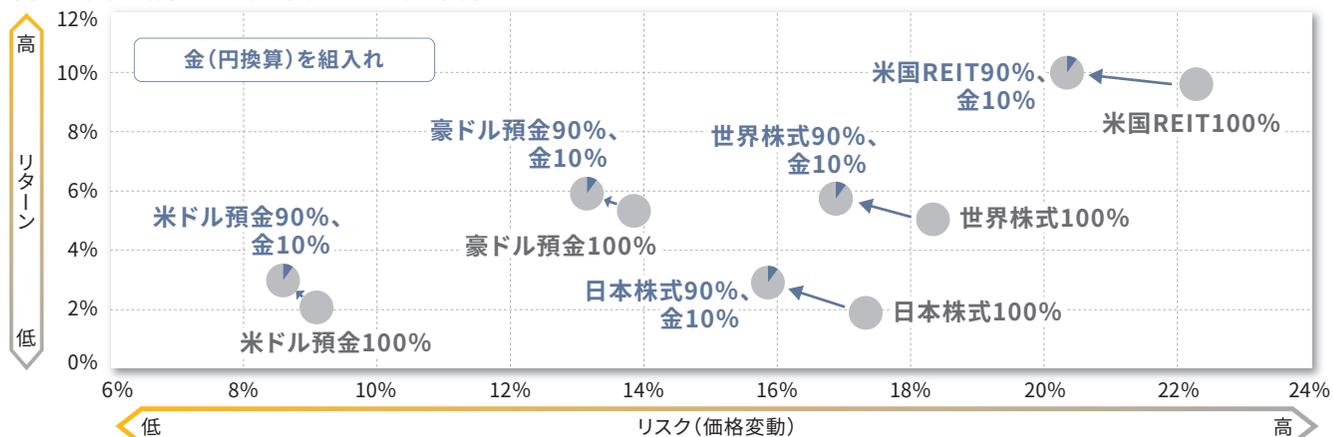
金は株式や債券、通貨など異なる値動きをする傾向がある投資対象として知られています。資産の一部に金を保有することで資産全体の値動きを安定化させる効果が期待されます。



各資産(円換算)と各資産に金(円ヘッジ)を10%組入れた場合のリスク・リターン特性
(月次、年率、期間:2000年7月末~2020年7月末)



各資産(円換算)と各資産に金(円換算)を10%組入れた場合のリスク・リターン特性
(月次、年率、期間:2000年7月末~2020年7月末)



※上記は金価格を使用したシミュレーションであり、ピクテ・ゴールド(為替ヘッジあり)およびピクテ・ゴールド(為替ヘッジなし)の運用実績ではありません。

※上記はあくまでも各資産に10%の金を組入れた場合の試算値であり、10%の組入比率がもっとも効果的であることを示すわけではありません。

ご参考 世界株式(円換算)との組合せで分散効果が高いのは?

金の世界株式に対する相性は良く(相関は低く)、組合せによる分散効果が他資産よりも期待できます。

分散効果が高い
逆方向に動く

関連性なし

分散効果が低い
同方向に動く



※データは月次収益率をベースに算出、期間:2000年7月末~2020年7月末

当資料で使用した金価格、指数およびデータの出所は以下の通りです。

金価格:ロンドン・ゴールド・マーケット・フィキシングLtd-LBMA PMフィキシング価格/USD、日本株式:TOPIX、世界株式:MSCI世界株指指数、世界国債:FTSE世界国債指数、米国REIT:FTSE/NAREITオール・エクイティ・リート指数。金(円ヘッジ)は金価格からヘッジコスト(米ドル、円Libor1ヵ月物の金利差)を控除。米ドル預金と豪ドル預金は12ヵ月預金金利を用いて算出。金価格以外はすべてトータルリターン。

出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ピクテ・ゴールド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める1円または1口(当初元本1口=1円)の整数倍の単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
購入・換金の申込不可日	スイスもしくはロンドンの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の午後休業日または12月24日においては、購入・換金のお申込みはできません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
信託期間	[為替ヘッジあり]2011年12月28日(当初設定日)から無期限とします。 [為替ヘッジなし]2019年9月19日(当初設定日)から無期限とします。
繰上償還	各ファンドにつき、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には信託が終了(繰上償還)となる場合があります。
決算日	毎年7月15日(休業日の場合は翌営業日)とします。
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。 ※ファンドには収益分配金を受取る「一般コース」と収益分配金が税引後無手数料で再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。 ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	2.2% (税抜2.0%) の手数料率を上限として、販売会社が独自に定める率を購入価額に乗じて得た額とします。 (詳しくは、販売会社にてご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に年 0.539% (税抜0.49%)の率を乗じて得た額とします。 [運用管理費用(信託報酬)の配分(税抜)]						
	<table><thead><tr><th>委託会社</th><th>販売会社</th><th>受託会社</th></tr></thead><tbody><tr><td>年率0.15%</td><td>年率0.3%</td><td>年率0.04%</td></tr></tbody></table>	委託会社	販売会社	受託会社	年率0.15%	年率0.3%	年率0.04%
委託会社	販売会社	受託会社					
年率0.15%	年率0.3%	年率0.04%					
投資対象とする投資信託証券	<table><tbody><tr><td>フィジカル・ゴールド・ファンド</td><td>純資産総額の年率0.34%(上限)</td><td rowspan="2">※上場投資信託証券につきましては銘柄毎に異なります。左記の報酬率等は、今後変更となる場合があります。</td></tr><tr><td>ショートターム MMF JPY</td><td>純資産総額の年率0.3%(上限)</td></tr></tbody></table>	フィジカル・ゴールド・ファンド	純資産総額の年率0.34%(上限)	※上場投資信託証券につきましては銘柄毎に異なります。左記の報酬率等は、今後変更となる場合があります。	ショートターム MMF JPY	純資産総額の年率0.3%(上限)	
フィジカル・ゴールド・ファンド	純資産総額の年率0.34%(上限)	※上場投資信託証券につきましては銘柄毎に異なります。左記の報酬率等は、今後変更となる場合があります。					
ショートターム MMF JPY	純資産総額の年率0.3%(上限)						
実質的な負担	最大年率 0.879% (税抜0.83%)程度 (注)組入上場投資信託証券により変動する場合がありますが上記最大年率を超えないものとします。2020年7月末日現在の組入状況および投資先ファンドにおいて適用されている報酬率に基づいた試算値は、「為替ヘッジあり」は年率0.76%(税込)程度、「為替ヘッジなし」は年率0.74%(税込)程度です。 (この値はあくまでも目安であり、ファンドの実際の投資信託証券の組入状況により変動します。)						
その他の費用・手数料	毎日計上される監査費用を含む信託事務に要する諸費用(信託財産の純資産総額の年率 0.055% (税抜0.05%)相当を上限とした額)ならびに組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等および外国における資産の保管等に要する費用等(これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)は、そのつど信託財産から支払われます。また、フィジカル・ゴールド・ファンドについては、申込み・買戻し時に取引コスト相当額が申込価格に付加または買戻価格から控除され、当該ファンドの信託財産に留保されます。投資先ファンドにおいて、信託財産に課される税金、監督当局に対する年次費用、弁護士への報酬、監査費用、有価証券等の売買に係る手数料等の費用が当該投資先ファンドの信託財産から支払われることがあります。						

※当該費用の合計額については、投資者の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社 ピクテ投信投資顧問株式会社(ファンドの運用の指図)
受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理)
販売会社 販売会社については下記のホームページをご照会ください。
(募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求受付ならびに収益分配金、償還金および一部解約代金の支払い等)

●投資信託説明書(交付目論見書)等のご請求・お申込みは

●設定・運用は

ピクテ投信投資顧問

ピクテ投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第380号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
日本証券業協会

●ピクテのファンドや投資環境等に関する情報やセミナーについてより詳しく知りたい方は下記へアクセスください。

 [ピクテのホームページ]
<https://www.pictet.co.jp>



[ピクテ主催の各種セミナー・イベント等]
<https://www.pictet.co.jp/Individual/Events>

